

柴田正文君の追悼

小林淳一（11組）

先日友人の中山正光君（11組）から柴田正文君（11組）が9月16日に亡くなったとの連絡がありました。まだまだ先があったのに残念でたまりません。訃報に際し、高校時代の柴田君の思い出を振り返ってみました。

スポーツマンで、上田高校野球部で活躍していました。ポジションはキャッチャーでした。私は応援しながら柴田君の動きを見ていました。彼は相手のバッターの心理状態を読み、配球の指示をピッチャーに出していました。それは見事でした。相手に逸る気持ちはある時には、わざと焦らせて打ち損ねさせたり、強気で勝負したりしていました。

柴田君の持ち味は、人を束ねある方向に導いていく指導力だと思います。力づくではなく相手の気持ちを理解した上で引っ張ります。相手の懐に入って納得させ、ある方向に導きます。従って敵を作ったりしないタイプの人柄だったと思います。高校時代、授業の間の休み時間に話をすると、いつもにこにこして人懐っこさがあり、周りを明るくしてくれていたことを思い出します。

税理士としてご活躍なさっていたと伺っています。スポーツマンで体には自信があったのではないかと思います。私たちのクラスからまた一人亡くなって、本当に寂しい限りです。柴田正文君のご冥福をお祈りすると共にご家族の皆様にもお悔やみを申し上げます。

以上